

# お茶の水駅から神田駿河台界限を歩く。

～神田川・ニコライ堂・ECOM 駿河台・湯島聖堂～

その昔、このあたりは「神田山」と呼ばれ、富士山を遠くに望む、風光明媚な高台でした。

江戸に幕府を開いた家康は、この神田山を切り崩し、日比谷入江（現在の日比谷公園、新橋あたり）を埋め立てました。さらに、平川（神田川）の水路を現在の飯田橋付近から隅田川まで確保して、江戸城の外濠の役目も果たす「神田川」が開削されました。

その後、家康が隠居して移り住んでいた駿府で没すると、旗本（駿河衆）たちは、江戸城に近くて、富士山が望めるこの地に居を構えていきました。それが、この町のはじまりで「神田駿河台」の地名の由来になりました。

◆日時 平成 29 年 7 月 17 日（月・海の日）

午前 9 時 30 分～12 時 30 分

◆集合 9 時 25 分

JR 御茶ノ水駅 聖橋口前（新御茶ノ水駅への入り口前広場）雨天決行 荒天中止

◆案内 エコまち歩き案内 小山裕三

●予定コース

お茶の水駅→太田姫稻荷神社元宮跡→淡路坂→大田南畝終焉の地→ニコライ堂→三井住友海上ビル・ECOM 駿河台（休日で外観のみになります）→太田姫稻荷神社→小栗上野介邸跡→大久保彦左衛門邸跡→御茶の水の碑→神田川（風致地区を望む）→聖橋→昌平坂→湯島聖堂（「大成殿」の中が拝観できます）→神田明神

主催：新宿あ・み・ま倶楽部（新宿チャレスポ）

共催：新宿エコポジの会

参加費 一般 500 円 会員 300 円（資料代など）



広重 「昌平橋聖堂神田川」



湯島聖堂屋上の聖獣・鬼龍子

●7月17日（月・海の日）「神田駿河台界限を歩く」に申込みます。

新宿チャレンジスポーツ文化クラブ宛 FAX03-3353-4352

申込み日 月 日

お名前			
ご住所			
電話番号	携帯電話番号		
メールアドレス			

\*ご記入いただいた個人情報はこの「まち歩き」の連絡等にのみ利用します」